

平成30年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

平成30年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果119世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果42名事務・用務・短時間職員を含む)
 上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員8名の評価結果です。

学校関係者評価結果【5段階評価: A・・・よくできている B・・・どちらかといえば C・・・普通 D・・・どちらかといえばできていない E・・・できていない

評価項目	領域	学校関係者評価と意見(○成果 ▲課題)			今後の取り組むべき課題	
		5段階評価		コメント:(訪問日) 1/23 (評価者) 学校評価委員9名(1名欠席)		
I	理念・基本方針	理念・基本方針が確立されている。	A	100%	○園要覧に明記されていると思います。 ○どの職員に尋ねても同じ返答が聞かれ、理念・方針が周知されていることが伺える。 ○よく考えられていると思います。理念と活動の繋がりが利用者に分かりやすくなると良いのでは。 ○施設理念がしっかりと明文化されており、利用者はもちろん職員も周知している。	
			B	0		
			C	0		
		理念・基本方針が周知されている。	D	0		
			E	0		
II	組織の運営管理	職員の質の向上に向けた体制が確立されている	A	75%	○教育・保育の質を向上するための構図に分かりやすく示されています。 ○職員による自己評価が、全職種の職員に行われていると説明がありました。多面的に評価ができ、良い試みだと思います。 ○職員も意見が言える環境となっており、職員一人一人、保育の質向上や維持に努めている。日々の保育から、こども園が地域との関わりを大切に活動していることが分かる。 ○関連施設内職員で定期的に協議がなされており、組織としての方向性が明確になっている。職員間での連携もスムーズに感じる事で、利用者のリスクも施設としてのリスクも軽減されることに繋がっていると感じます。 ▲ボランティアについては、私の認識がなく評価できませんでした。 ▲職員の質の向上について、目にする機会が無いので分かりづらい。	法人理念「奉仕の精神と社会貢献」とし、職員によるボランティア活動と、地域関係機関からの受け入れを行っている。また、事業計画に園内研修を掲げると共に、外部研修への参加等、教育・保育活動の充実、保育教諭の資質向上に努め取り組む。
		利用者の安全を確保するための取組が行われている	B	25%		
		地域との関係が適切に確保されている	C	0		
		関係機関との連携が確保されている	D	0		
			E	0		
III	適切な福祉サービスの実施	利用者満足の上昇に努めている	A	88%	○利用者アンケートの結果を分析し、対応されていると思います。 ○保護者からの意見を丁寧に聞き、個々に対応している姿勢が良く伝わりました。 ○年二回のアンケートを実施しているが、それ以外でも日頃の利用者との関わりの中から意見を聞いている場面を目にし、対応されている。 ○利用者の満足度を向上させる努力をしていると思います。 ○記名制のアンケートがあるが、利用者の声が職員へしっかりと伝わり、現場レベルでの改善に繋がっている。 ▲アンケートに記入しにくいとの意見が毎回のように出ているので、他の方法も検討して頂けたらと思います。	施設アンケートの記名については、保護者の皆様と施設側相互の責任の下対応する為に継続し、内容や回答の仕方については協議し改善を図りながら取り組んでいく。
			B	0		
			C	12%		
		利用者が意見を述べやすい体制が確保されている	D	0		
			E	0		
IV	教育・保育の基本	養護と教育の一体的展開	A	100%	○全体的な計画が総合的に作られ、実践されていると思います。 ○子供の発達段階に応じて、教育課程が組まれており、各領域とも適切に教育・保育が進められていると思います。 ○教育・保育理念、教育・保育方針に基づき、年齢に応じた計画がしっかりと立てられ、一覧表になっていてとても分かりやすいです。この計画にしたがって、頑張っていたきたいと思います。 ○子供の年齢、発達に合わせた教育・保育内容が編成されており、五歳児では就学を意識した内容の関わりが配慮されている。どの年齢の子供も、保育教諭との関わりを楽しんでいる姿がみられた。 ○以前は、二階に子供用トイレがなく、五歳児は一階まで行きトイレを利用していたが、二階にトイレが設置されていた。子供の成長・発達に応じた環境整備にも力を入れている様子が伺えた。一人一人にロッカーがあり、子供が基本的な生活習慣を身に付けられる環境が整備されている。 ○障害のある子供への対応は、その都度話し合いがされていると感じています。 ○地域環境を十分に活かした教育・保育をされていると感じました。 ○月齢・年齢に応じたカリキュラムで子供達が楽しむ中、学び、成長に繋がっている。小学生が利用する児童クラブが併設している事で、就学前の子供達の教育にも好感が持てる。 ○日々生活の中に、身近な物での制作や屋外での活動がある為、友達と話す事や協調性を学べる環境が確立されており、まさしく楽しく生活し、楽しく学べていると思われる。そしてそれが、長時間にわたる保育・教育でも子供達が過し易い事に繋がっている。 ▲一歳児の教室が人数の割に狭いと感じました。先生からもそのような説明がありました。室内の二酸化炭素濃度を調べて頂き、室内環境には十分配慮して頂きたいです。	今年度は12月15日(土)、学校薬剤師による教室の空気検査を実施した。各教室基準値以内で問題無かったが、一時間毎に換気を5分程行うよう助言があったことを受け、室内環境を整える為に確実に実施する。
			B	0		
			C	0		
			D	0		
			E	0		
		子ども達の生活と発達	A	88%		
			B	12%		
			C	0		
			D	0		
			E	0		
IV	教育・保育の基本	子ども達の福祉を増進することに最も相応しい生活の場	A	100%	○食育を意識した食事が提供されていると思います。 ○今回も大変おいしく給食をいただきました。ありがとうございます。先生達には、自前の昼食を持参し食べると聞きましたので、先生達も試食できる機会があると、保護者に献立を説明するうえで、説得力があるのではないかと思います。 ○室内の乾燥対策として加湿器が設置されており、健康管理に留意している。歯科健診の結果から、子供達の食事に速やかに反映されていて、素晴らしいと思った。アレルギー疾患を持つ子供に対して丁寧に適切に対応しており、安心して保育を委ねる事ができている。食育に力を入れていることが、提供されている給食やおやつから知ることができる。 ○食事という、「生きていく為の大切なもの」そこを一生懸命工夫していただき、ただただ感謝です。 ○食育について大変力を注いでおり、感心・感謝します。 ○減塩給食に尽力していて、その中で食育も行うことで、子供達の食に対する関心を高め、健康・安心・安全を確保する事に繋がっている。各家庭でも、減塩の意識が高まっている事を実感し、これからの発展・拡大にも期待が持てる。	
			B	0		
			C	0		
			D	0		
			E	0		
		健康及び安全の実施体制	A	75%		
			B	25%		
			C	0		
			D	0		
			E	0		
		家庭との緊密な連携	A	88%		
			B	12%		
			C	0		
			D	0		
			E	0		